

# ごあいさつ



平素は、JAひがしみの事業運営に格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、農業協同組合法第54条の3に基づき、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、事業概況について皆さまにご理解いただくため、ディスクロージャー誌を作成致しましたので、ご参考にしていただければ幸いと存じます。

令和4年度は長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下、ワクチン接種や各種政策の効果もありウィズコロナによる経済活動の再開によって徐々に経済が回復し、国民の感染症に対する意識の変化が見られました。

農業を取り巻く環境につきましては、高齢化や後継者不足等により、生産基盤の一層の縮小が懸念されています。また、世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇に加え、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響により肥料・飼料・農業機械等の生産資材価格が高騰し、生産現場では多くの生産者が厳しい状況に直面しております。このような状況の下、トータル生産コストの低減、提案につながる予約購買、レンタル農機の充実によるコストメリットを創出するとともに、有機農業の拡充や化学肥料・農薬の削減を目指して、連合会・行政機関等と連携して取り組んでおります。

当JAが掲げる経営理念の「信頼」・「貢献」・「挑戦」を礎に、今後とも、地域になくしてはならないJAであり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化を図るとともに、組合員との対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んでまいります。

最後になりますが、組合員の皆さま並びに関係各位のご健勝をご祈念申し上げますとともに、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年7月

東美濃農業協同組合

代表理事組合長 萩野 修三